

読者のひろば

このコーナーは、皆さんからの身近な話題を紹介させていただくページです。

デザインが
変わりました!!
竹ノートを
プレゼント

当コーナーにお便りなどが掲載された皆さんへ、竹ノート(A5判・非売品)をプレゼントします。このノートは、中越パルプ工業(株)川内工場様のご好意によるものです。お便りお待ちしております。

西 郷どんの教え「南洲翁遺訓」は、山形県の庄内藩で作られたそうです。驚きました！私の実家があるところなのです。

(遺訓の話は置いておいて)「つ思ったのは：春になると鹿児島では「あくまき」が出回ります。実は、庄内でも形は違えども全く同じ作り方と味の「ちまき」が春の風物詩なのです。もしかしたら、西郷どんの教えとともに山形にもたらされたのでは?…なんて思ってみました。ただ、それを継承できる環境が減っているのも、また同じなのかも。

(花より団子・39歳女性)
灰汁で炊く「あくまき」は南九州ならではの思っていました。山形県にもあるんですね。私も祖母からもらって食べるだけでなく、あくまきの教えを受け継がなければと思いました。

お いらのまちに新幹線がやってきました!

半世紀前、上京にあたり、当時飛行機という手段もあつたろうが高値の花。寝台特急はやぶさで堂々?憧れの花の東京入り。それにしても23時間汽車にゴトゴトと揺れに揺られ、不安と緊張、腰は痛いの疲れるの死ぬ思いの旅。5年後、東京大阪間新幹線なる時速200キロなんてすごいやつができたものの、おいらのまちにはまだ。それから45年。東京に6時間で行けるそう。大したもんだ。

(みやしとんガリラバ・67歳男性)
私もまだ小さかったころ、青い寝台列車に乗って大阪に行ったのを今でも覚えています。九州新幹線の全線開業でまた思い出に残る旅ができそうですね。

ふ るさを離れて50年。私の娘時代の薩摩川内市は、青春の思い出の塊です。

当時は映画館(若草劇場)があり、人気歌手が来演したとき、18歳の私は、ステージに上り、憧れの歌手に花束贈呈をしました。今でもセピア色になった思い出の写真があります。それから、40年後、花束贈呈をした歌手と再開の機会があり、その写真にサインをしていただきました。お互いに年齢を重ね、生涯に2度お会いでき、関西と新幹線が直通となり、新しい薩摩川内市の姿を見に帰郷が増えることでしょうか。

(若草劇場・71歳女性)
誰もが味わえないとても素敵なお出でができましたね。生涯2度出会えたことは、きっと偶然ではなく必然だと思いますよ。

つ い先日、あるレストランへお友達と昼食に行ったときのこと。ガラス張りの戸からドーンと音がしました。見ると小鳥がぶつかって地面にうずくまっていた。脳しんとうを起こしているだけだと、思っ

て見ました。ところが、猫がその小鳥に気付き、抜き足差し足で近づきはじめました。どうしようかと胸がドキドキしたとき、店のご主人が、飛び出して行き、小鳥を小箱に入れました。ほっとしました。それから30分ぐらいして、ご主人は、その箱を外に持って行ったのでしょか。ご主人の行動がきつこの子に良い影響を与えたでしょう。私もとてもすがすがしい気持ちで、いつもよりおいしく食事しました。

(くいしんぼう・70歳女性)
命の大切さ。言葉よりも、行動で示した方がより伝わりますよね。その子の心にも言葉では伝えられないものが届いたと思います。



◎表紙の説明

交通ルールちゃんと覚えたかな?? 育英保育園交通安全教室

5月13日(金)、福岡自動車学校で行われた育英保育園児の交通安全教室の様子。当日は、同園ばら組の園児ら31人が参加。自動車学校の先生から「道路には絶対飛び出さないように」などと説明を受けると、「はい!!」と大きな声で元気に答えていました。また、同教室に指導に訪れた薩摩川内警察署の職員らにパトカーや白バイに乗せてもらうと、園児らは目を輝かせて喜んでいました。

東日本大震災の義援金を 受け付けています

東日本大震災の被災者に対する義援金箱を市役所本庁(2階ロビー)・各支所、市社会福祉協議会本所・各支所に設置しています。皆さまのご協力をお願いいたします。なお、5月26日(木)までに寄せられた義援金額は44,746,922円です。また、現在、電話やメールによる義援金詐欺が発生しています。義援金や募金をされる際には、十分ご注意ください。

【問合せ】 ■本庁障害・社会福祉課社会福祉グループ
☎(23)5111(内線2171)
おおよび各支所市民生活課
■市社会福祉協議会 本所
☎(22)2355
おおよび各支所

■発行

薩摩川内市
〒895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3-22
☎0996(23)5111 ☎0996(20)5570
☎0996(22)8115(直通)
*音声案内後に内線番号を押してください。
閉庁日および時間外 ☎0996(23)5115

■編集

本庁企画政策部広報室(内線632・633)
☎koho@city.satsumasendai.lg.jp

■各支所

- 樋脇支所 〒895-1292 樋脇町塔之原1173
☎0996(37)3111 ☎0996(37)2252
- 入来支所 〒895-1492 入来町浦之名33
☎0996(44)3111 ☎0996(44)3117
- 東郷支所 〒895-1106 東郷町斧淵362
☎0996(42)1111 ☎0996(42)0767
- 祁答院支所 〒895-1595 祁答院町下手67
☎0996(55)1111 ☎0996(55)1021
- 里支所 〒896-1192 里町里1922
☎09969(3)2311 ☎09969(3)2912
- 上甌支所 〒896-1201 上甌町中甌481-1
☎09969(2)0001 ☎09969(2)1490
- 下甌支所 〒896-1696 下甌町手打819
☎09969(7)0311 ☎09969(7)0753
- 鹿島支所 〒896-1392 鹿島町藺牟田1457-10
☎09969(4)2211 ☎09969(4)2672

■広報電話

☎0120(894)256
*夜間救急当番医やイベント・防災行政無線の放送内容などの情報が電話で確認できます。

■市ホームページ

☎http://www.city.satsumasendai.lg.jp

担当者の声 STAFF'S VOICE

蛭 観賞会が、地元の隈之城地区コミ協により、先月末に開催されました。あいにく夕立となりましたが、夕暮れとともに雨も止み、蛭たちも優しく出迎えてくれました。観賞会のほか、スライドによる「蛭の生態」の説明や「東日本大震災被災者への寄付を目的とした竹製品の販売」等大盛況でした。私は数日間のお手伝いでしたが、準備に関わられた関係者の皆様におかれましては、大変お疲れさまでした。なお、現地での蛭の様子がP15の上位に掲載されておりますので、ご参考までに。(坂下)

子 供も大きくなれば写真もなかなか撮らなくなり、デジカメも何年も壊れたままです。今度、広報担当になり久しぶりに支所のカメラを持って地域へ出かけましたが、私にはデジカメの画面が小さくその場で写りの確認ができず戸惑いました。年は取りたくないですね。これから、それぞれの季節の甌島を紹介出来ればと考えていますので、よろしくをお願いします。(藏元)

お便り募集 読者のひろば

広報室では、お便り、絵手紙、写真などを募集しています。皆さんの身近な出来事などで紹介したい・伝えたい・心温まる話などをお寄せください。

【投稿について】

- ▼お便り 200字以内
- ▼絵手紙・写真 200字以内
- ▼住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ペンネーム(記入が無ければ、実名で記載させていただきます)
- ▼住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ペンネーム(記入が無ければ、実名で記載させていただきます)
- ▼投稿は、はがき・封書・メールまたは直接広報室まで
- ☎koho@city.satsumasendai.lg.jp

*紙面の都合上、掲載できないこともあります。

【問合せ先】 本庁広報室
☎(23)5111(内線632)

ハガキおもと
8958650 神田町3-22
広報室読者のひろば係
(記入例)

ハガキうら